

第 65 回 中小企業景況調査

(令和 2 年 4 月～令和 2 年 6 月)

《 調査結果の要約 》

全業種業況DIは▲76.9ポイント（前期比 16.7ポイント減）と大幅な低下傾向にある。業種別では小売業（最寄品）と小売業（買回品）がやや回復傾向にあるものの、製造業、建設業、飲食業、サービス業が軒並み低下傾向にあるという状況である。

業種別にみると、下記の通りである。

3ヵ月前と比べて好転 ↑ : 小売業（最寄品）、小売業（買回品）

3ヵ月前と比べて悪化 ↓ : 製造業、建設業、飲食業、サービス業

1. 全業種業況判断DIは、▲76.9%（前期比 16.7ポイント減）と大幅な低下傾向にあるが、3ヵ月先は、▲20.2ポイントと大幅な回復の見通しである。
2. 設備投資件数は 13 件（3ヵ月前に比べて横ばい）となっており、その内訳はOA機器 6 件、機械設備 2 件、車両運搬具 3 件、建物等 2 件となっている。
3. 経営上の問題点（延べ問題点件数に対する比率）は、①需要の停滞 36%（67 社）が最も多く、②利用者ニーズの変化 16%（30 社）、③単価の低下・上昇難 10%（19 社）、④人件費以外の経費の増加 8%（15 社）、⑤人件費の増加 6%（12 社）が続いている。

＜国内および神奈川県の中小企業の景況トピックス＞

・中小企業の業況判断DIは、6期連続で低下した。

- 1、2020 年 1－3 月期の全産業の業況判断DIは、▲64.1（前期差 39.7ポイント減）となり、6期連続で低下した。
- 2、製造業の業況判断DIは、▲65.7（前期差 38.5ポイント減）となり、8期連続して低下した。業種別に見ると、食料品、パルプ・紙・紙加工品、輸送用機械機器など全業種で低下した。
- 3、非製造業の業況判断DIは、▲63.5（前期差 40.0ポイント減）と 6期連続して低下した。産業別に見ると、サービス業、卸売業、小売業、建設業の全ての産業で低下した。

・神奈川県中小企業の総合業況DIは、前期比 26.7ポイント低下の▲62.1となった。経営状況では、売上DIは前期比 31.7ポイント低下の▲66.7、また採算DIは同 23.3ポイント低下の▲58.4となった。今後の業況DIを見ると、3ヵ月後は現在比 11.2ポイント低下の▲73.3、半年後は同 1.7ポイント低下の▲63.8を見込んでいる。

※ 国内は独立行政法人中小企業基盤整備機構、神奈川県は公益財団法人神奈川産業振興センターの調査報告書から抜粋。

《 調査概要 》

1. 調査時点：令和2年7月現在
2. 調査件数：鎌倉市内の中小企業、特に小規模企業（製造業・建設業・小売業（最寄品）・小売業（買回品）・飲食業・サービス業）の中から151社を抽出しました。

	製造業	建設業	小売業		飲食業	サービス業	合 計
			最寄品	買回品			
調査件数	16	14	22	29	37	33	151
回答数	12	7	14	24	24	23	104
回答率	75.0%	50.0%	63.6%	82.8%	64.9%	69.7%	68.9%

3. 調査方法：郵送によるアンケート方式（一部経営指導員による聞き取り）

4. 調査項目：

（1）D I の状況について

① 自社の状況 ② 売上額 ③ 資金繰り ④ 採算 ⑤ 従業員数

（2）設備投資について

（3）経営上の問題について

5. 調査データについて

（1）D I：Diffusion Index（ディフュージョンインデックス・景気動向指数）の略

各調査項目について、「増加」「好転」したとする企業割合から「減少」「悪化」したなどとする企業割合を差し引いた数値で、企業の景況感の判断に使用する指数。

（2）データは当該期間（四半期ごと）と、その前年同期および向こう3ヵ月の見通しを対比したものです。

・四半期：1年の4分の1、すなわち「3ヵ月間」

・前期比：3ヵ月前との比較

・前年同期比：1年前との比較

< D I 計算例 >

「やや増加」「やや好転」50%、「変わらず」20%、「やや悪い」「やや減少」30%の場合、次の様な計算となります。

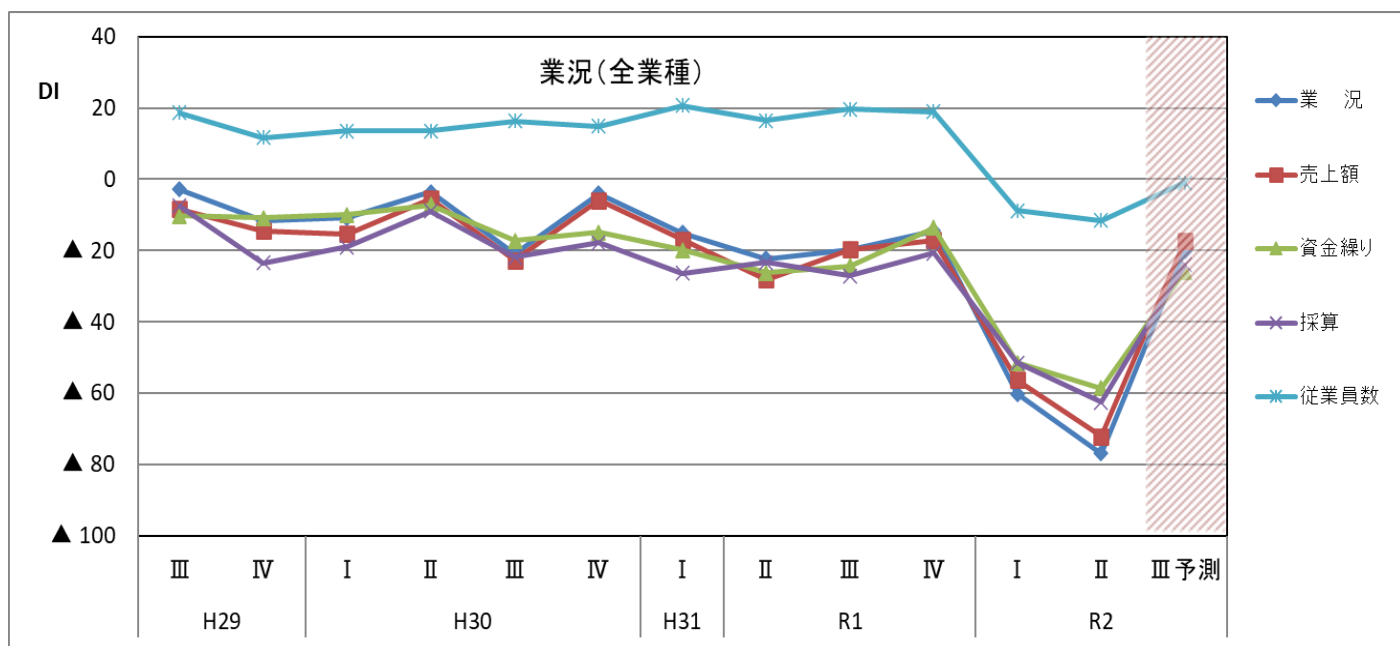
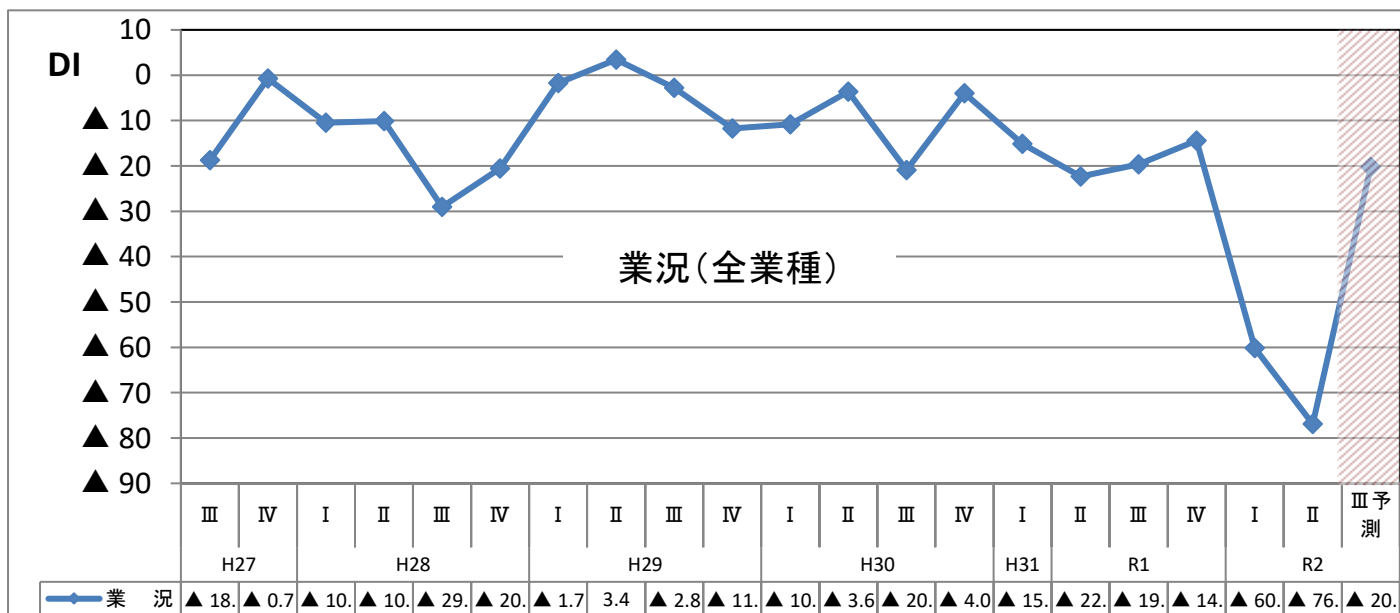
$$\begin{aligned}
 \text{D I} &= +50 - 30 \\
 &= +20
 \end{aligned}$$

《 調査結果 》

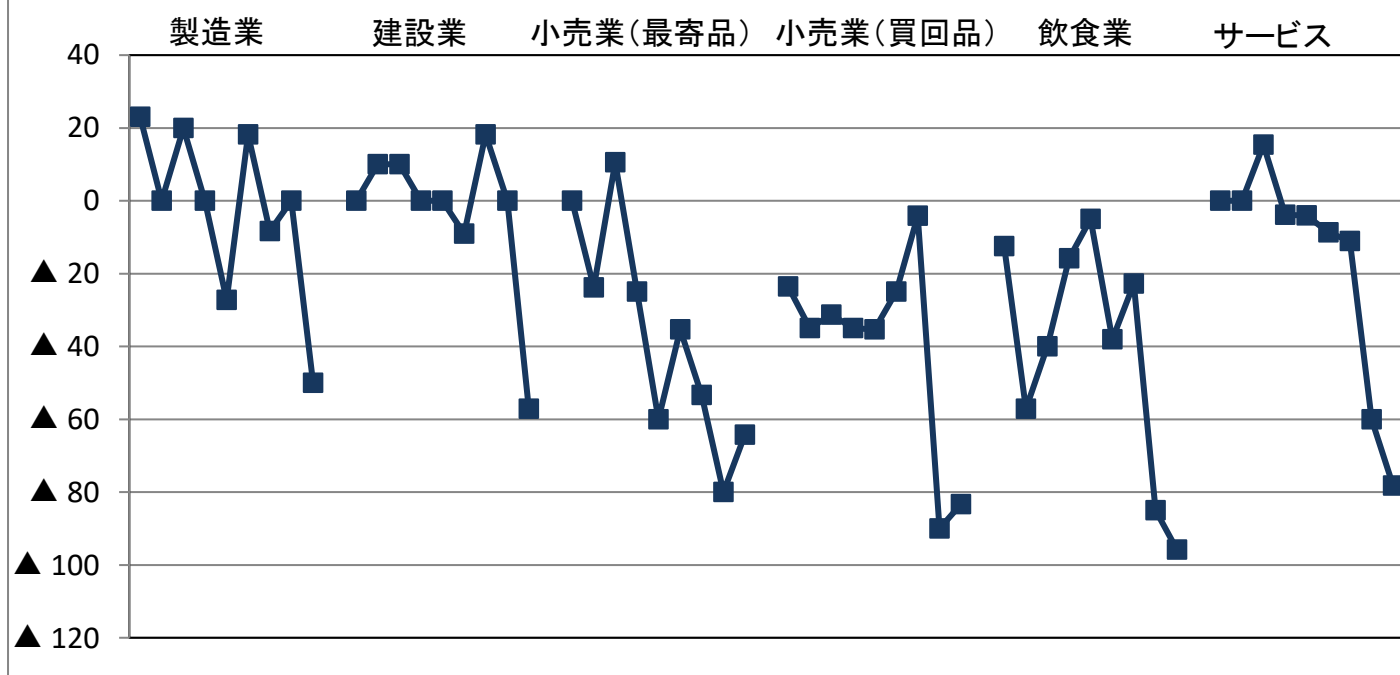
I. 全業種

□業況D I

- ・全業種の業況判断D Iは、▲76.9%（前期比 16.7 ポイント減）と大幅な低下傾向が見られるが、3ヶ月先は、▲20.2%と大幅な回復の見通しである。
- ・売上D Iは、▲72.1%（前期比 15.8 ポイント減）と大幅な低下傾向が見られるが、3ヶ月先は、▲17.3%と大幅な回復の見通しである。
- ・資金繰りD Iは、▲58.7%（前期比 7.2 ポイント減）と低下傾向が見られるが、3ヶ月先は、▲20.6%と大幅な回復の見通しである。
- ・採算D Iは、▲62.5%（前期比 11.0 ポイント減）と大幅な低下傾向が見られるが、3ヶ月先は、▲20.4%と大幅な回復の見通しである。
- ・従業員数D Iは、▲11.5（前期比 2.8 ポイント減）と人手過剰となっているが、3ヶ月先は、▲1.0%と人手過剰が大幅に解消される見通しである。
- ・業種別の業況判断D Iは、小売業（最寄品）と小売業（買回品）がやや回復傾向にあるものの、製造業、建設業、飲食業、サービス業は軒並み低下傾向にあるという状況である。



業種別 業況判断DIの推移(H30年 4-6 月期～R2年 4-6 月期)



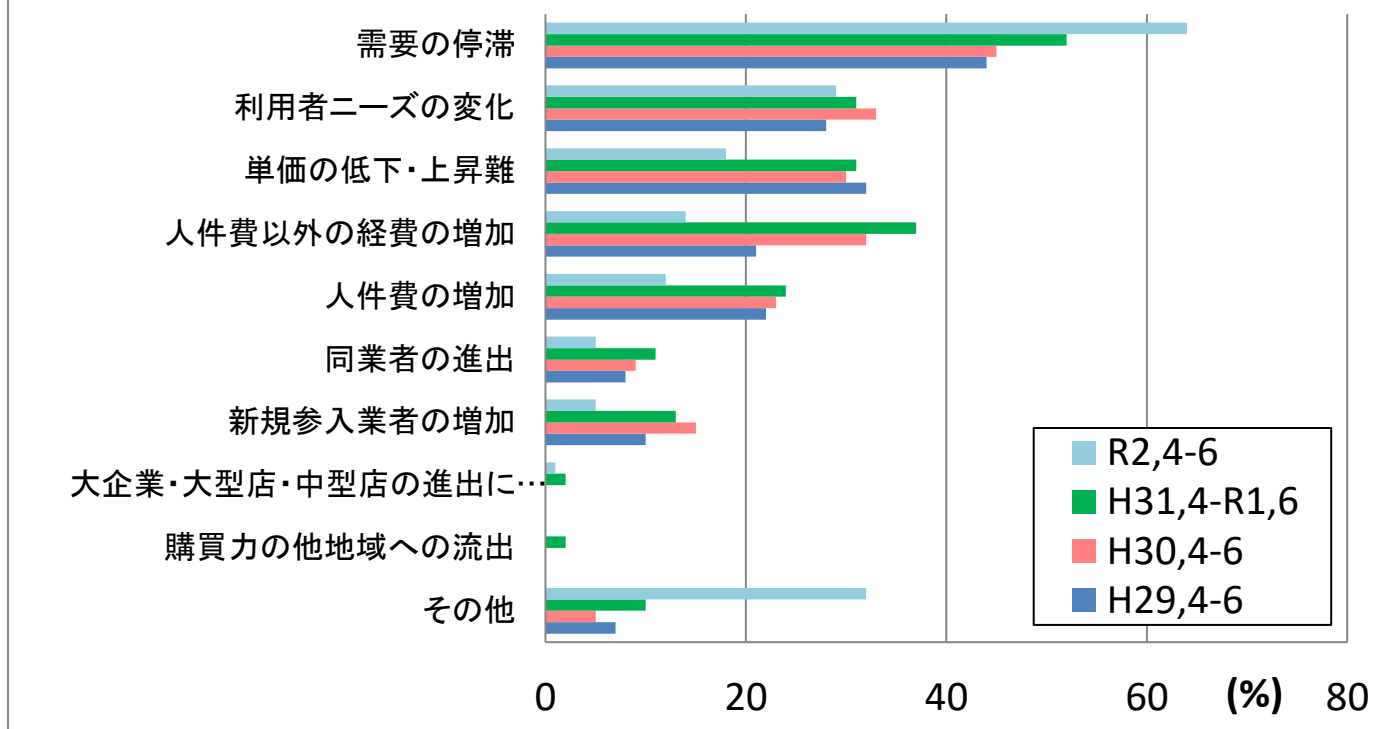
□設備投資の動向

- ・投資件数は 13 件（3 カ月前と比べて横ばい）となっており、その内訳は OA 機器 6 件、機械設備 2 件、車両運搬具 3 件、建物等 2 件となっている。

□経営上の問題点（延べ問題点件数に対する比率）

- ・経営上の問題点は、①需要の停滞 36%（67 社）が最も多く、②利用者ニーズの変化 16%（30 社）③単価の低下・上昇難 10%（19 社）、④人件費以外の経費の増加 8%（15 社）、⑤人件費の増加 6%（12 社）が続いている。

経営上の問題点（回答社数に対する比率）

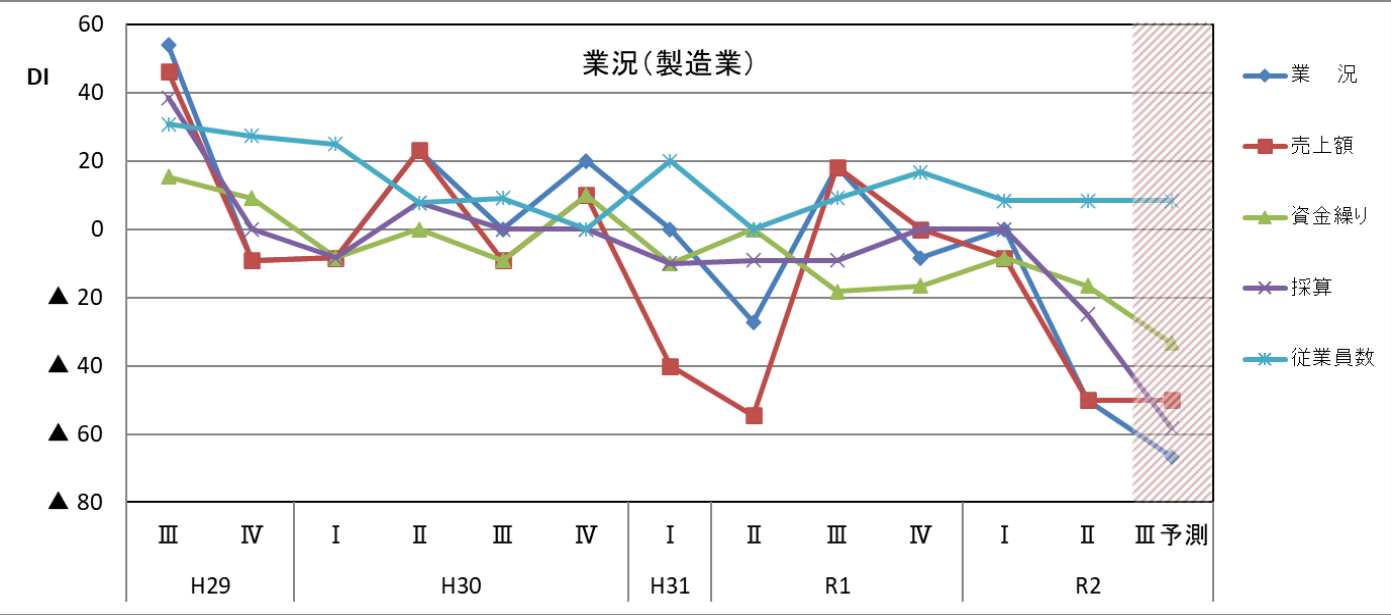


Ⅱ. 業種別

1、製造業

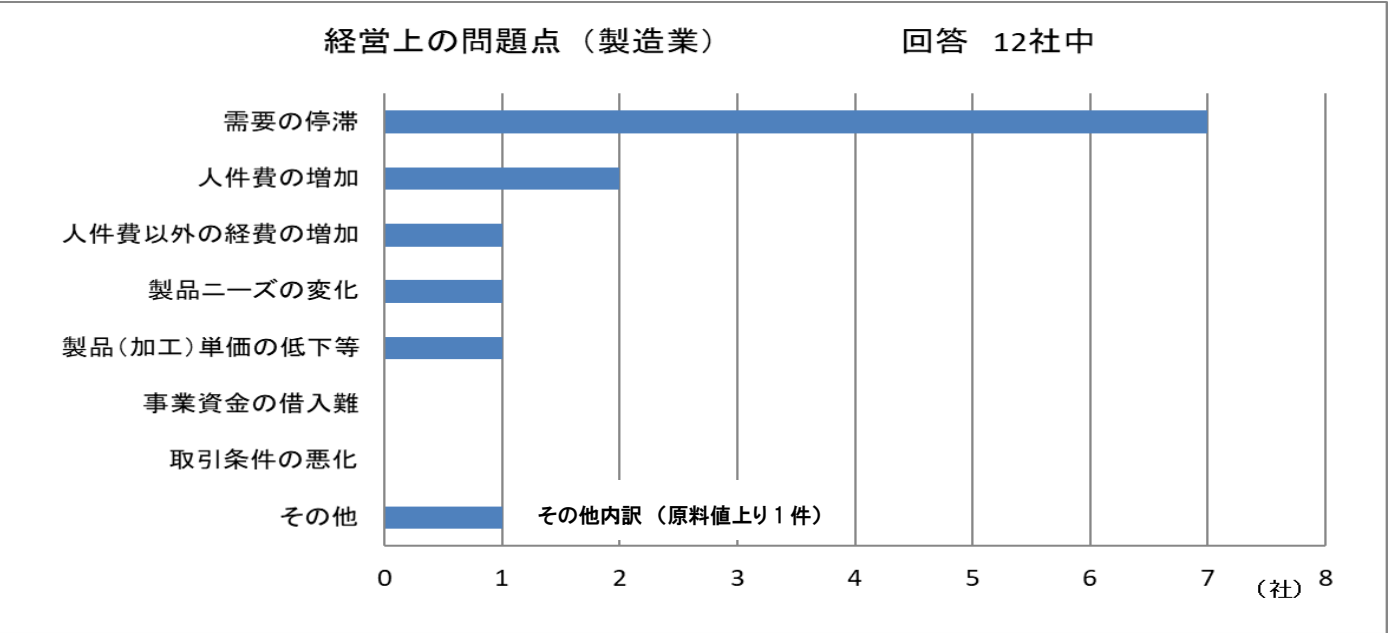
□業況D I

- ・業況判断D Iは、▲50.0%（前期比 50.0 ポイント減）と大幅な低下傾向となっているが、3ヶ月先は、▲66.7%とさらに大幅な低下の見通しとなっている。
- ・売上D Iは、▲50.0%（前期比 41.7 ポイント減）と大幅な低下傾向となっているが、3ヶ月先は、▲50.0%との横ばいの見通しとなっている。
- ・資金繰りD Iは、▲16.7%（前期比 8.4 ポイント減）と低下傾向となっているが、3ヶ月先は、▲33.3%と大幅な低下の見通しとなっている。
- ・採算D Iは、▲25.0（前期比 25.0 ポイント減）と大幅な低下傾向となっているが、3ヶ月先は、▲58.3%とさらに大幅な低下の見通しとなっている。
- ・従業員数D Iは、+8.3%（前期比±0.0 ポイント）で人手不足状況は横ばいとなっているが、3ヶ月先も、+8.3%と依然として横ばいの見通しである。



□設備投資の動向 OA 機器 1 件のみとなっている。

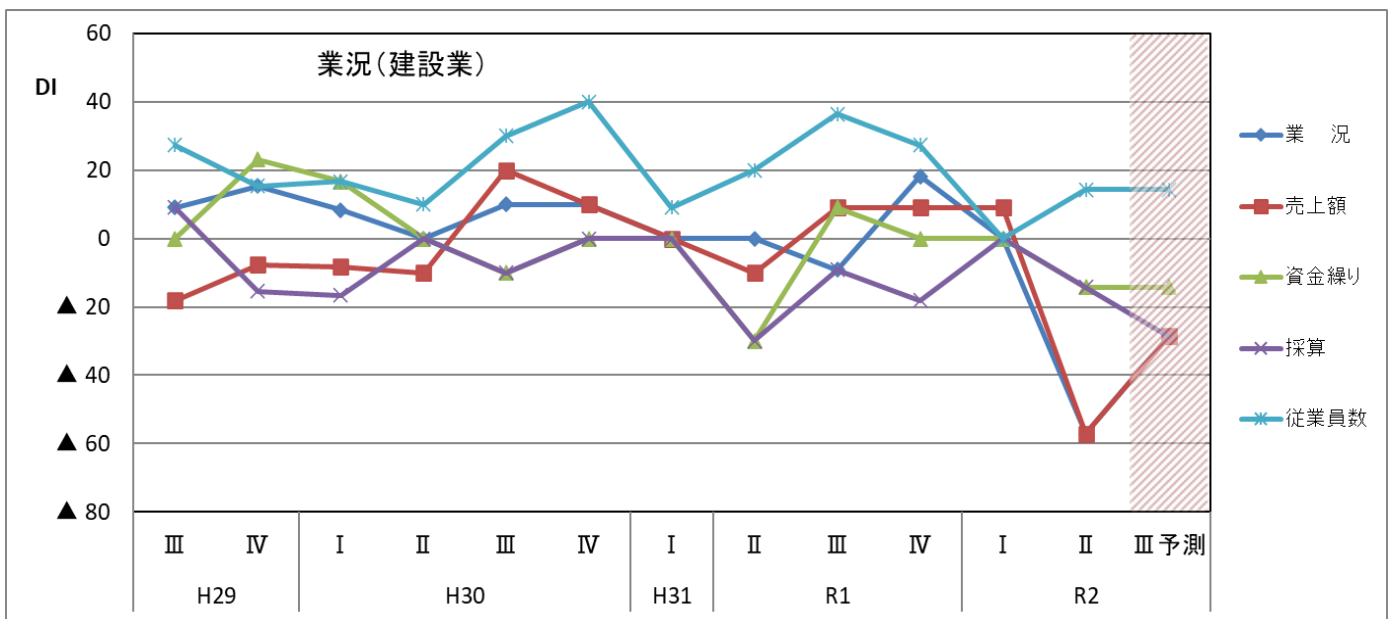
□経営上の問題点（延べ問題点件数）



2、建設業

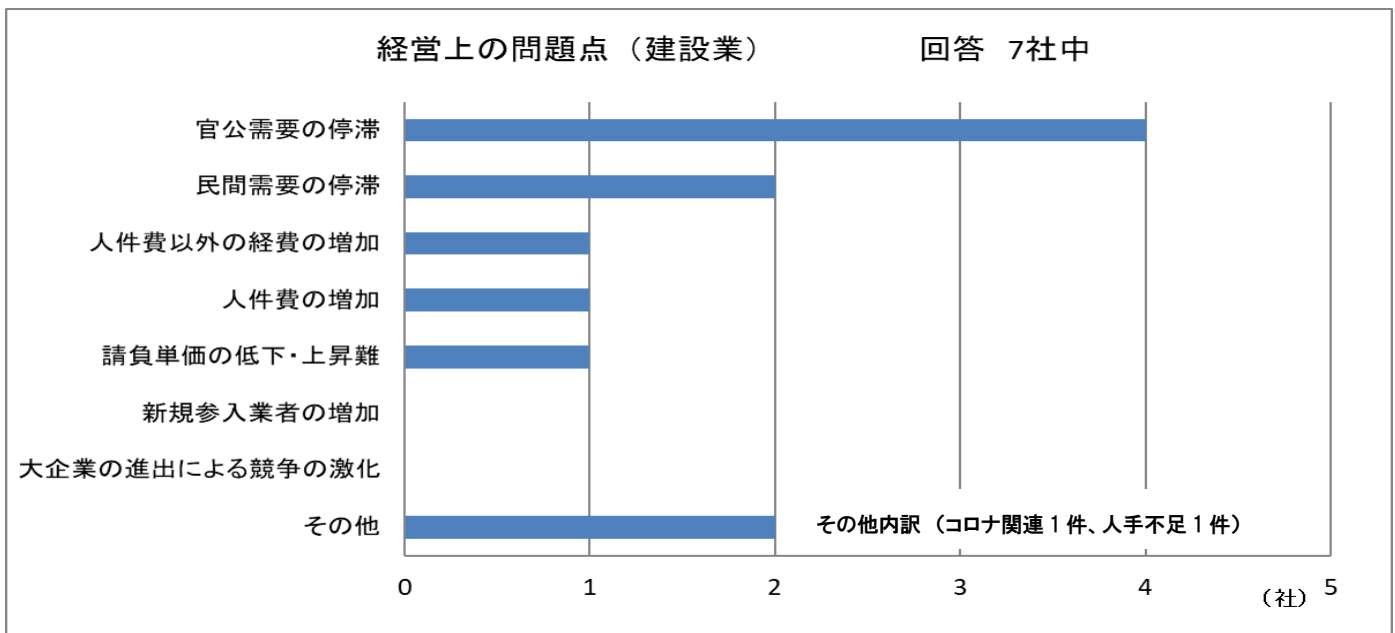
□業況D I

- ・業況判断D Iは、▲57.1%（前期比 57.1 ポイント減）と大幅な低下傾向にあるが、3ヶ月先は、▲28.6%と大幅な回復の見通しである。
- ・売上D Iは、▲57.1%（前期比 66.2 ポイント減）と大幅な低下傾向にあるが、3ヶ月先は、▲28.6%と大幅な回復の見通しである。
- ・資金繰りD Iは、▲14.3%（前期比 14.3 ポイント減）と大幅な低下傾向にあるが、3ヶ月先は、▲14.3%と横ばいの見通しである。
- ・採算D Iは、▲14.3%（前期比 14.3 ポイント減）と大幅な低下傾向にあるが、3ヶ月先は、▲28.6%とさらに低下の見通しである。
- ・従業員数D Iは、+14.3%（前期比 14.3 ポイント増）で再び人手不足の傾向にあるが3ヶ月先も、+14.3%と人手不足は横ばいの見通しである。



□設備投資の動向 設備投資の実績はない。

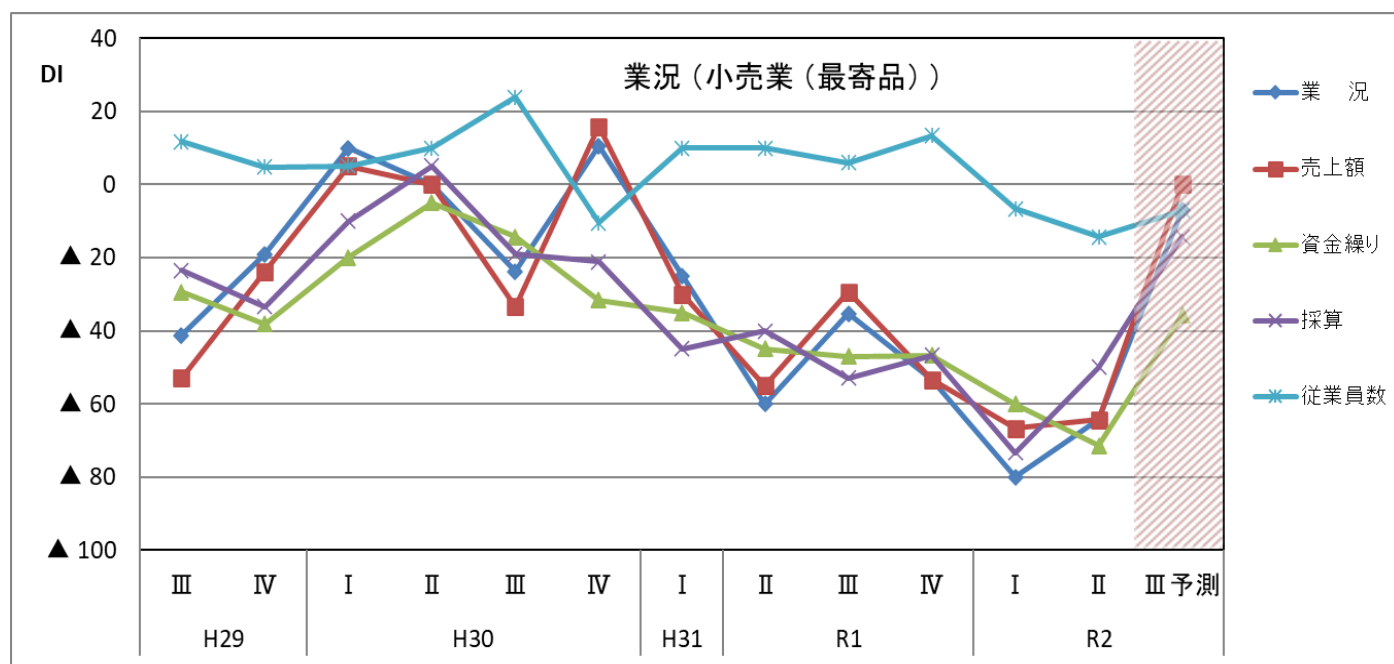
□経営上の問題点 (延べ問題点件数)



3. 小売業（最寄品）

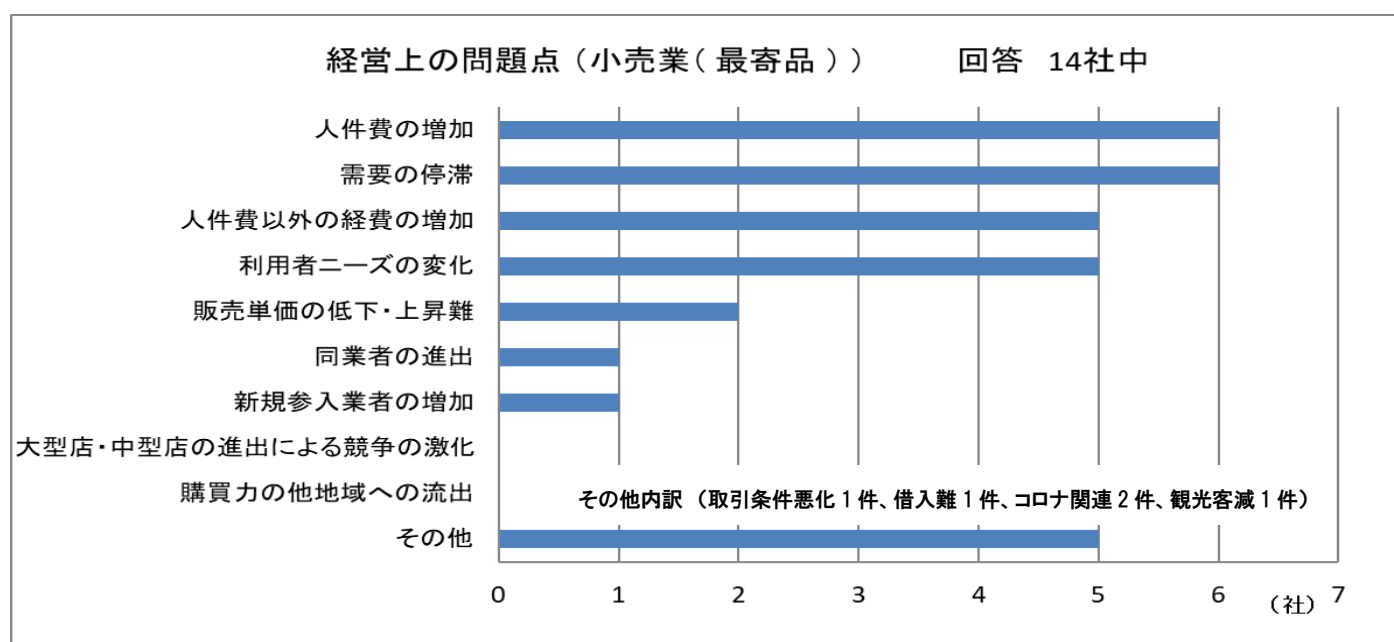
□業況D I

- ・業況判断D Iは、▲64.3%（前期比 15.7 ポイント増）と大幅な回復傾向にあるが、3ヶ月先は、▲7.1%とさらに大幅な回復の見通しである。
- ・売上D Iは、▲64.3%（前期比 2.4 ポイント増）とやや回復傾向にあるが、3ヶ月先は、±0.0%とさらに大幅な回復の見通しである。
- ・資金繰りD Iは、▲71.4%（前期比 11.4 ポイント減）と大幅な低下傾向にあるが、3ヶ月先は、▲35.7%と大幅な回復の見通しである。
- ・採算D Iは、▲50.0%（前期比 23.3 ポイント増）と大幅な回復傾向にあるが、3ヶ月先は、▲14.3%とさらに大幅な回復の見通しである。
- ・従業員数D Iは、▲14.3%（前期比 7.6 ポイント減）と人手過剰となっているが、3ヶ月先は、▲7.1%と人手過剰がやや解消する見通しである。



□設備投資の動向 OA 機器等 1 件、機械設備 1 件となっている。

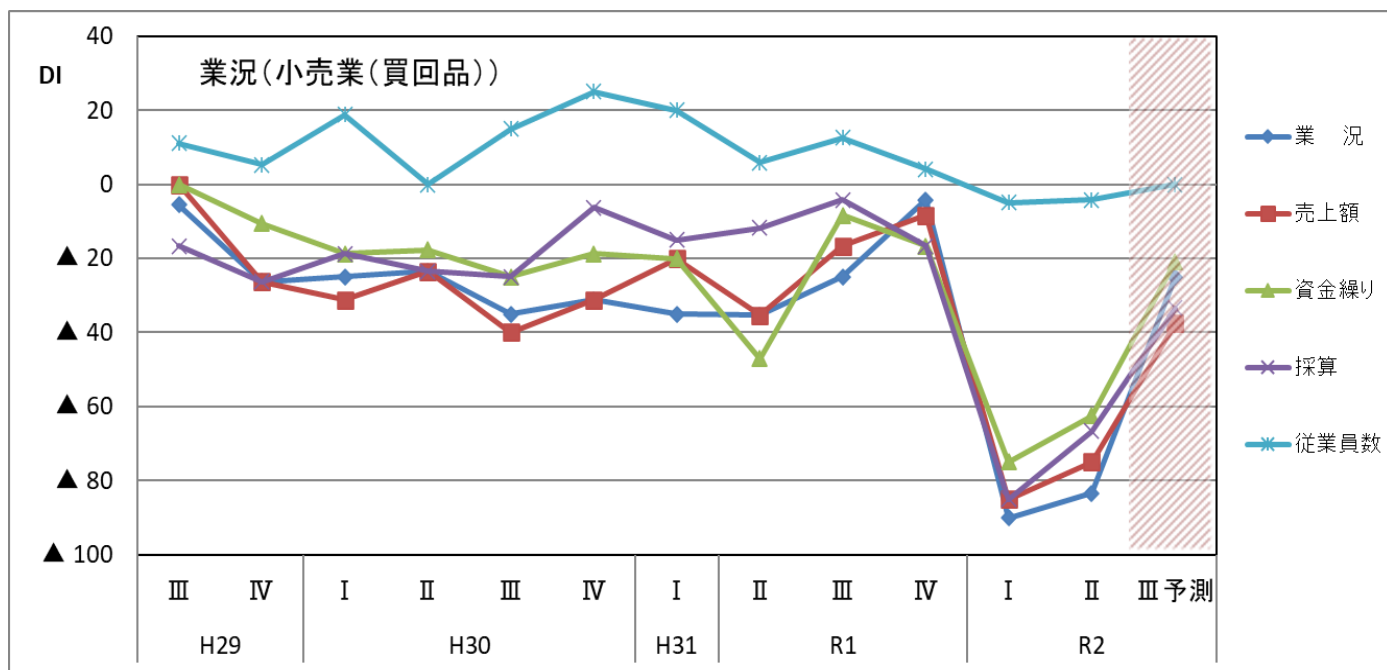
□経営上の問題点（延べ問題点件数）



4、小売業（買回品）

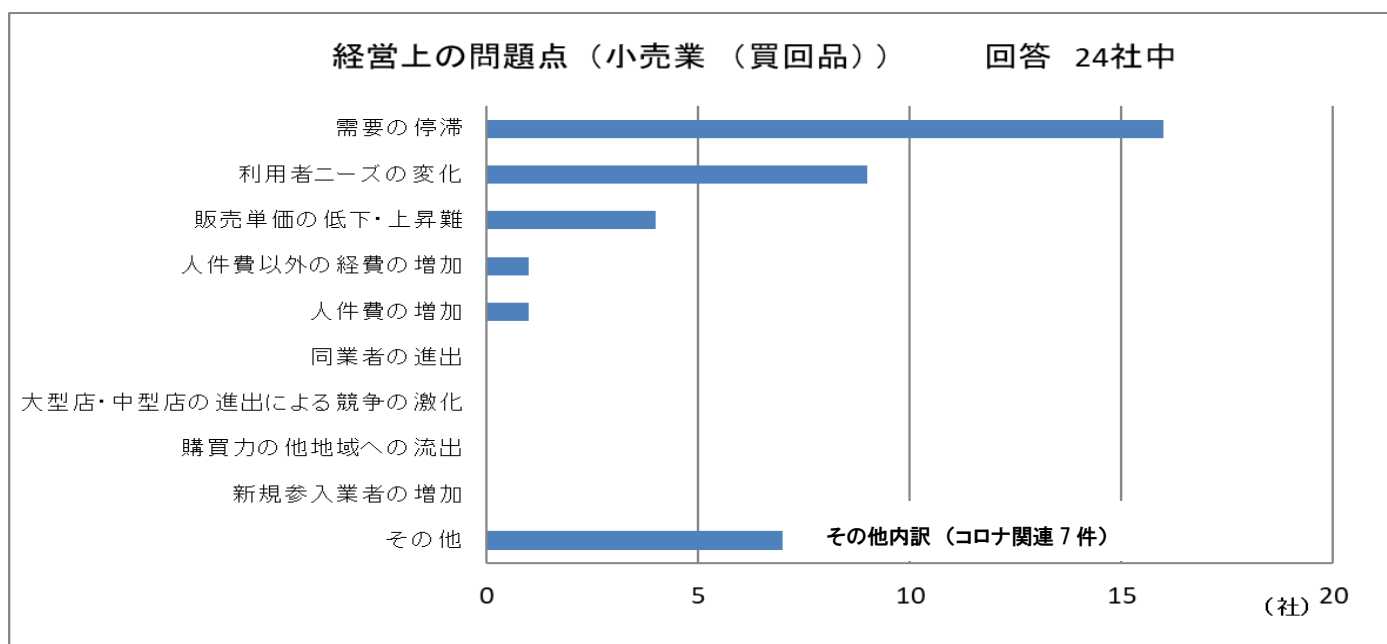
□業況D I

- ・業況判断D Iは、▲83.3%（前期比 6.7 ポイント増）と回復傾向にあるが、3ヶ月先も、▲25.0 と大幅な回復の見通しである。
- ・売上D Iは、▲75.0%（前期比 10.0 ポイント増）と大幅な回復傾向にあるが、3ヶ月先も、▲37.5%と大幅な回復の見通しである。
- ・資金繰りD Iは、▲62.5%（前期比 12.5 ポイント増）と大幅な回復傾向にあるが、3ヶ月先も、▲20.8%と大幅な回復の見通しである。
- ・採算D Iは、▲66.7%（前期比 18.3 ポイント増）と大幅な回復傾向にあるが、3ヶ月先も、▲33.3%と大幅な回復の見通しである。
- ・従業員数D Iは、▲4.2%（前期比 0.8 ポイント増）で人手過剰が解消されつつあるが、3ヶ月先も、±0.0%と人手過剰がさらに解消される見通しである。



□設備投資の動向 OA 機器等 1 件、車両運搬具 1 件、建物等 1 件となっている。

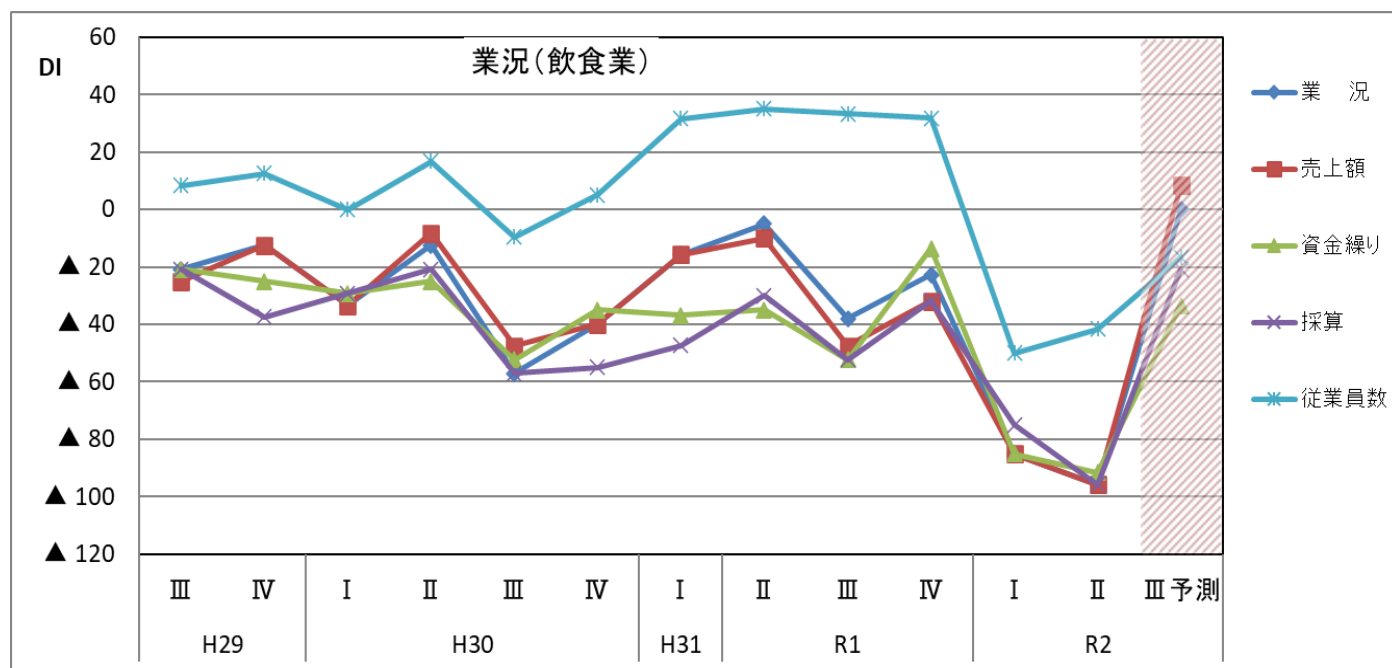
□経営上の問題点（延べ問題点件数）



5、飲食業

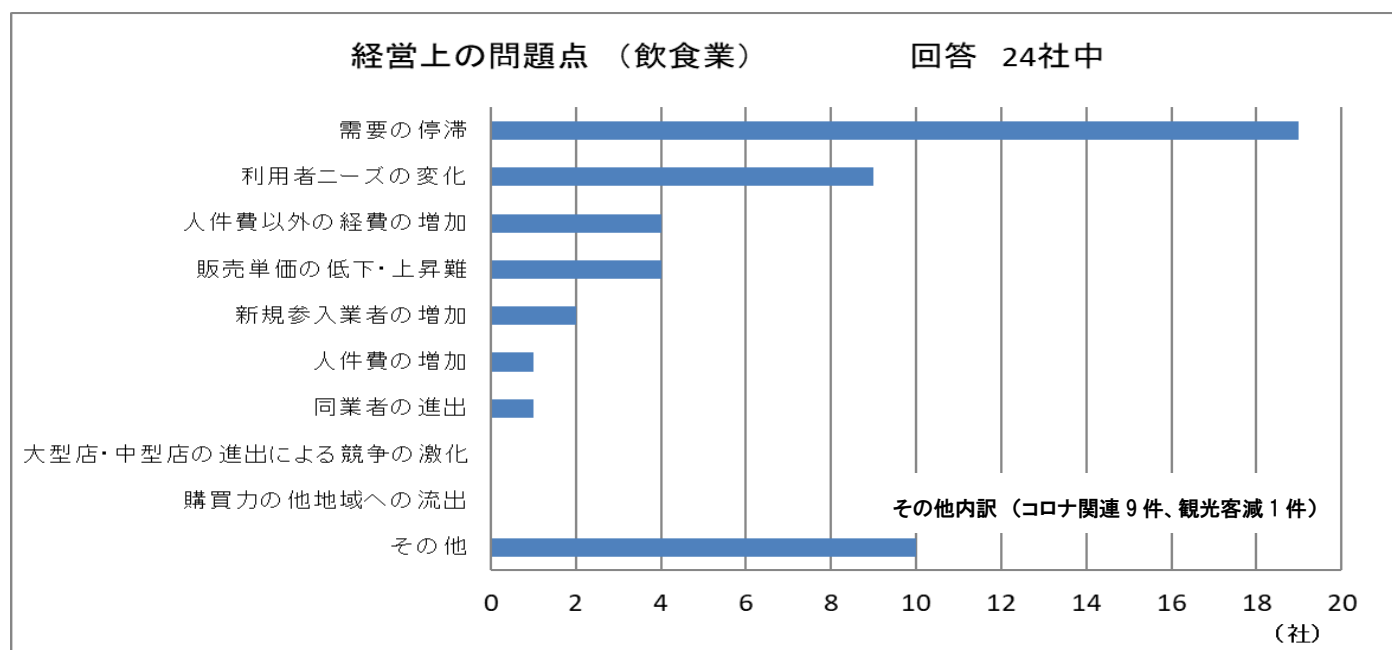
□業況D I

- ・業況判断D Iは、▲95.8%（前期比 10.8 ポイント減）と大幅な低下傾向にあるが、3ヶ月先は、±0.0%と大幅な回復の見通しである。
- ・売上D Iは、▲95.8%（前期比 10.8 ポイント減）と大幅な低下傾向にあるが、3ヶ月先は、+8.3%と大幅な回復の見通しである。
- ・資金繰りD Iは、▲91.7%（前期比 6.7 ポイント減）と低下傾向にあるが、3ヶ月先は、▲33.3%と大幅な回復の見通しである。
- ・採算D Iは、▲95.8%（前期比 20.8 ポイント減）と大幅な低下傾向にあるが、3ヶ月先は、▲20.8%と大幅な回復の見通しである。
- ・従業員数D Iは、▲41.7%（前期比 8.3 ポイント増）と人手過剰となっているが、3ヶ月先は、▲16.7%と人手過剰が大幅に解消される見通しである。



□設備投資の動向 機械設備 1 件、建物等 1 件となっている。

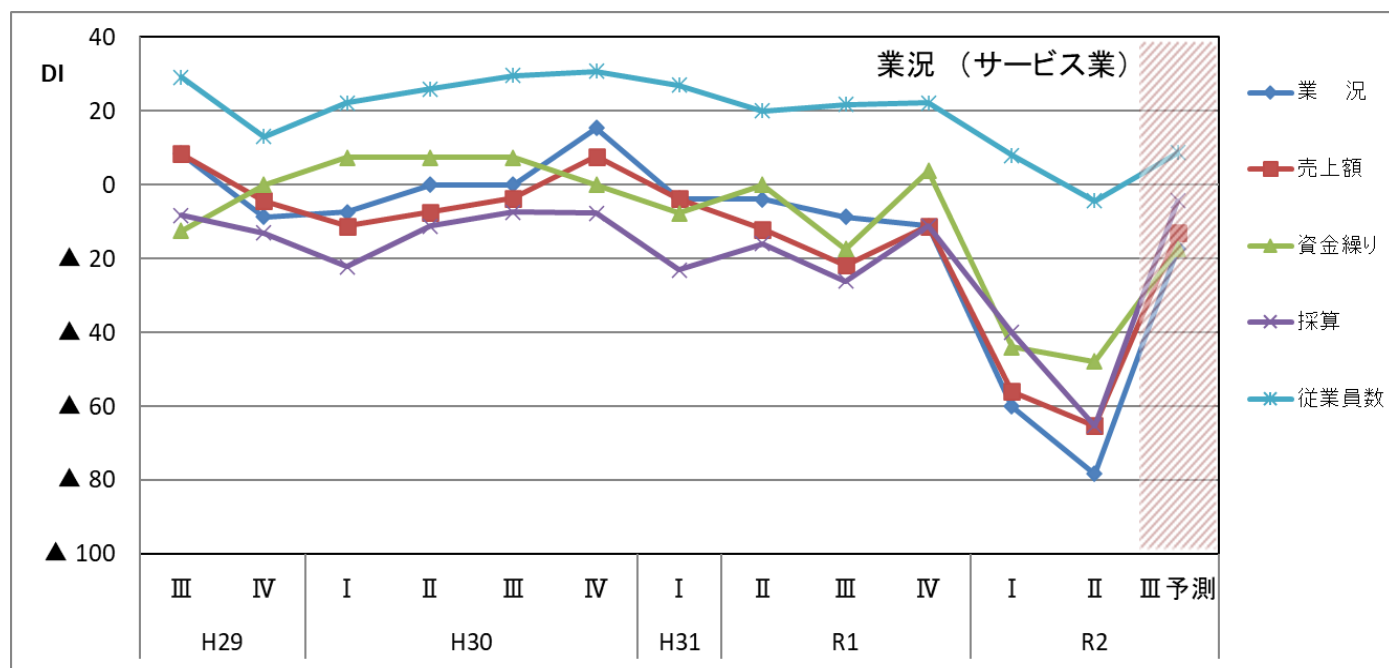
□経営上の問題点 (延べ問題点件数)



6、サービス業

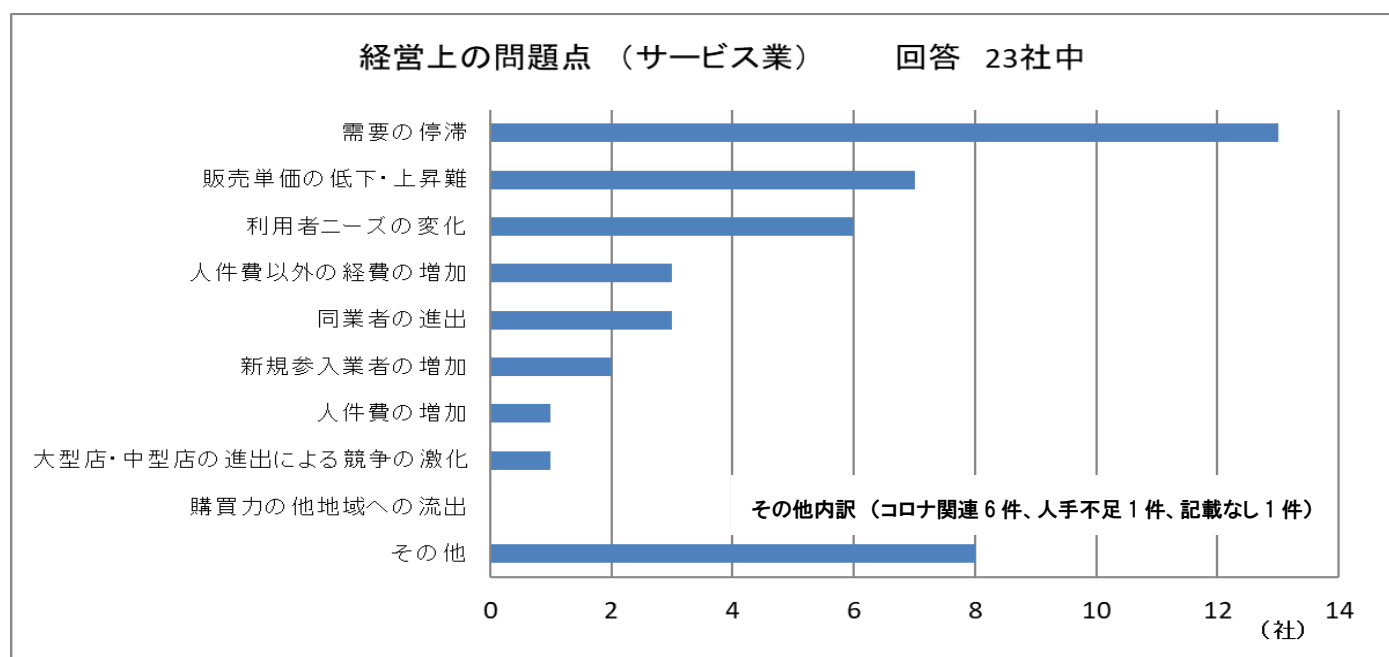
□業況D I

- ・業況判断D Iは、▲78.3%（前期比 18.3 ポイント減）と大幅な低下傾向にあるが、3 ヶ月先は、▲17.4%と大幅に回復の見通しである。
- ・売上D Iは、▲65.2%（前期比 9.2 ポイント減）と低下傾向にあるが、3 ヶ月先は、▲13.0%と大幅に回復の見通しである。
- ・資金繰りD Iは、▲47.8%（前期比 3.8 ポイント減）と低下傾向にあるが、3 ヶ月先は、▲17.4%と大幅な回復の見通しである。
- ・採算D Iは、▲65.2%（前期比 25.2 ポイント減）と大幅な低下傾向にあるが、3 ヶ月先は、▲4.3%と大幅な回復の見通しである。
- ・従業員数D Iは、▲4.3%（前期比 12.3 ポイント減）と人手過剰の傾向にあるが、3 ヶ月先は、+8.7%とやや人手不足の見通しである。

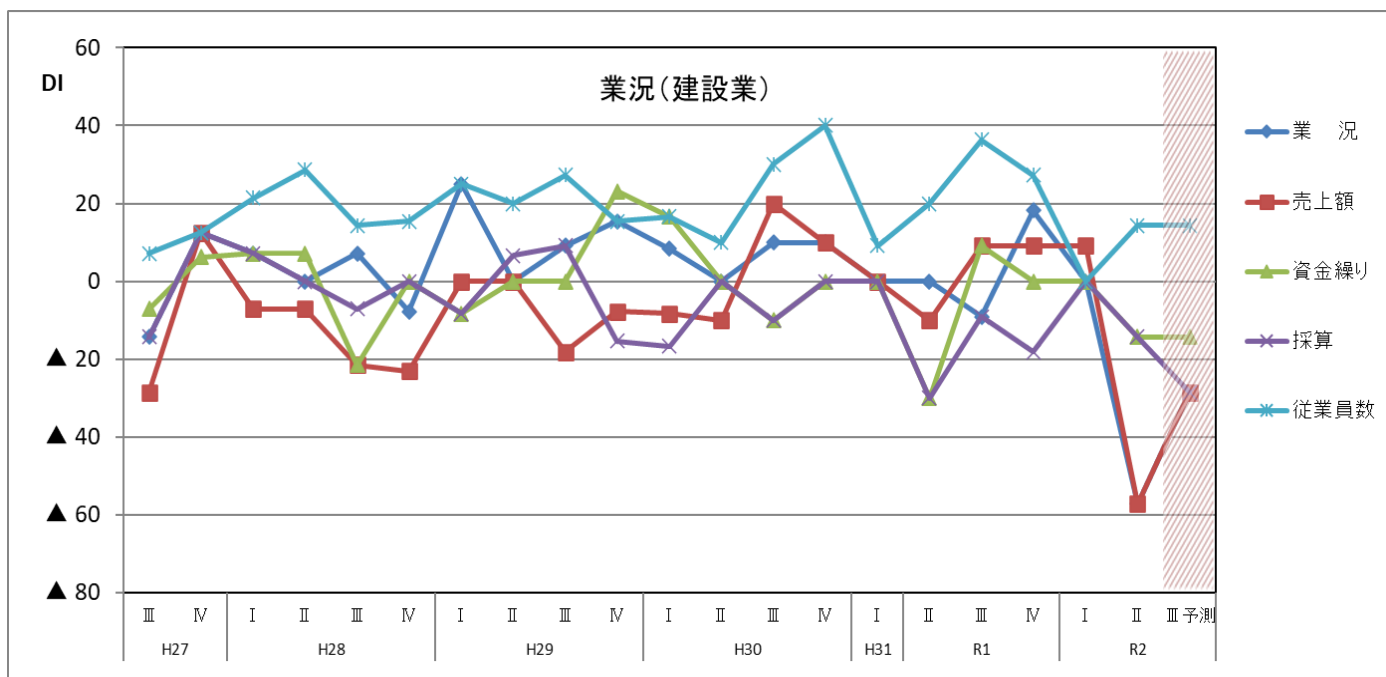
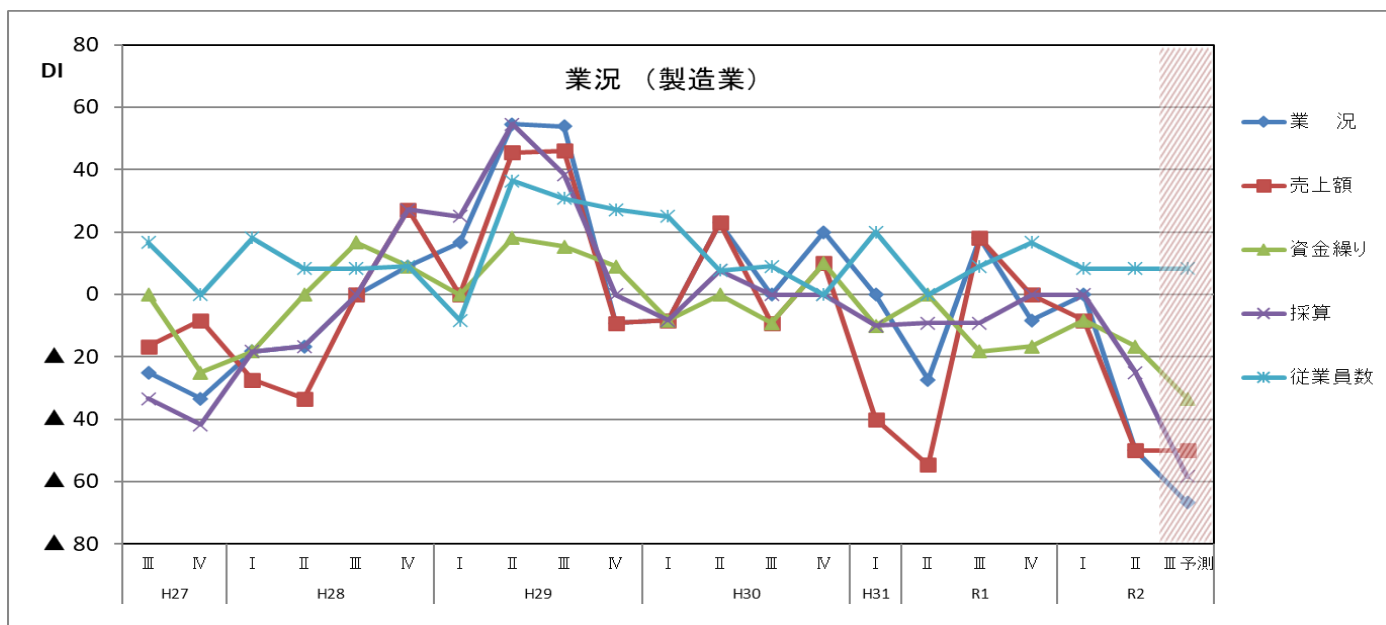
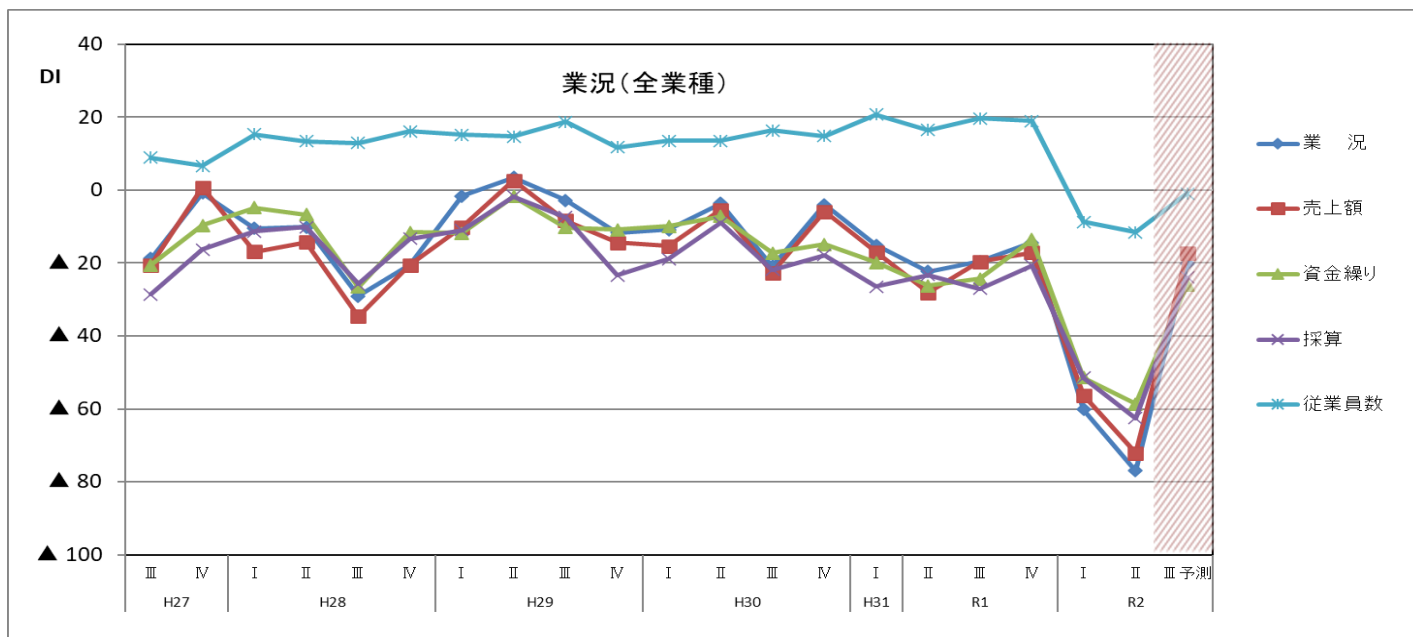


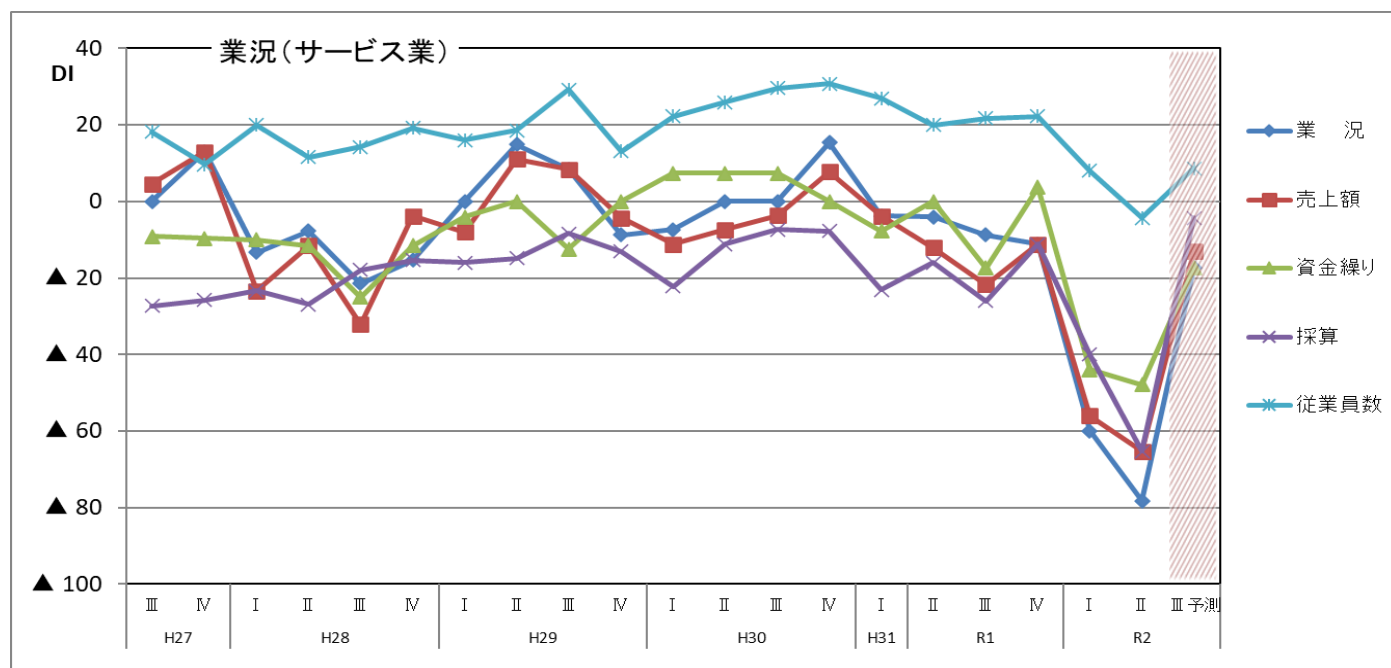
□設備投資の動向 OA 機器等 3 件、車両運搬具 2 件となっている。

□経営上の問題点（延べ問題点件数）



《資料》 5年分の推移





□設備投資

全業種	H27		H28				H29				H30				H31 R1				R2		
	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ予測
OA機器	6	6	9	12	6	9	6	11	3	6	6	9	5	5	6	6	9	8	3	6	5
機械設備	4	5	3	4	6	6	6	6	8	6	5	6	11	10	4	3	4	6	3	2	10
車輛運搬具	5	5	7	5	8	5	1	6	5	5	1	3	3	5	4	4	5	5	3	3	1
建物	6	5	3	4	5	5	4	4	5	5	3	6	1	5	4	8	5	5	3	2	4
その他	1	1	2	4	2	0	0	4	1	3	1	0	0	3	4	3	2	1	0	0	0

製造業	H27		H28				H29				H30				H31 R1				R2		
	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ予測
OA機器	3	3	0	1	2	2	1	0	1	0	0	1	1	0	1	1	1	3	1	1	1
機械設備	0	0	1	1	0	2	0	1	2	1	2	0	2	3	2	2	1	0	1	0	1
車輛運搬具	1	2	2	0	2	1	0	2	1	0	0	1	0	2	1	0	0	2	1	0	0
建物	0	0	0	0	1	0	0	2	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0
その他	0	0	1	1	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0

建設業	H27		H28				H29				H30				H31 R1				R2		
	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ予測
OA機器	2	2	2	0	0	2	1	2	0	1	2	0	0	0	2	0	1	1	1	0	0
機械設備	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0
車輛運搬具	2	1	0	2	3	2	1	2	1	1	0	1	1	0	0	2	2	1	0	0	0
建物	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0

小売業 (最寄品)	H27		H28				H29				H30				H31 R1				R2		
	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ予測
OA機器	0	0	0	3	1	2	1	3	0	2	2	3	1	0	2	2	0	0	0	1	0
機械設備	2	4	0	1	4	0	2	0	2	2	0	3	2	1	1	0	1	3	0	1	3
車輛運搬具	1	0	2	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
建物	2	1	1	2	2	1	2	1	0	2	1	1	0	2	1	1	1	0	0	0	2
その他	1	0	0	0	1	0	0	0	1	2	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0

小売業 (買回品)	H27		H28				H29				H30				H31 R1				R2		
	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ予測
OA機器	0	0	3	1	1	0	1	2	0	0	0	0	0	0	1	0	2	2	1	1	0
機械設備	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	1	0	4	2	0	0	0	1	0	0	2
車輛運搬具	0	0	2	2	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0
建物	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	1	1
その他	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0

飲食業	H27		H28				H29				H30				H31 R1				R2		
	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ予測
OA機器	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1
機械設備	1	1	1	0	1	3	2	5	3	2	2	1	2	4	0	0	0	2	1	1	3
車輛運搬具	1	1	0	0	0	0	0	0	2	1	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0
建物	0	1	0	1	1	2	1	0	1	0	1	1	0	1	1	1	1	2	0	1	0
その他	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0

サービス業	H27		H28				H29				H30				H31 R1				R2		
	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ予測
OA機器	1	1	4	6	2	3	1	4	2	3	1	3	2	5	0	3	3	2	0	3	3
機械設備	0	0	0	1	1	1	0	0	1	0	0	2	0	0	1	1	1	0	0	0	1
車輛運搬具	0	1	1	1	1	1	0	1	1	2	0	0	1	2	2	1	1	1	2	2	1
建物	2	3	2	1	1	1	1	1	3	2	1	2	1	1	1	6	6	3	1	0	1
その他	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0